




平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 長 崎 県 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	長崎市立西坂小学校・全校児童113名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（道徳・学活） ② 行事名（全校朝会） ③ その他（オリンピックの招聘・実技披露）
4 目標 (ねらい)	<p>オリンピック・パラリンピックについての歴史や精神について学んだり、実際にオリンピックの実技を見たりすることを通して、スポーツに対する興味・関心を高めたり、オリンピック・パラリンピックに対する夢や憧れを抱いたりすることで、生涯にわたってスポーツを楽しむもうとする心を育成させる。</p>
5 取組内容	<p>(1) 校内掲示の工夫</p> <p>校内に県内のオリンピック選手、パラリンピック選手のポスターを掲示した。掲示場所は体育館に行くまでの通路や各教室前の廊下など、児童の目に触れやすい場所にした。</p>  <p>また、体育館の壁面に特設コーナーを設け、オリンピック・パラリンピックに関するクイズを掲示したり、走り幅跳びや走り高跳びの世界記録を、実際にテープで再現したりした。</p>  <p>(2) オリンピアン招聘 北京オリンピック陸上競技</p> 

4×100mリレー銅メダリスト高平慎士選手をお招きし、児童への実技披露や講演をしていただいた。



(3) 職員によるオリンピックの紹介

オリンピック招聘の事前学習として、全校朝会でオリンピックに関する簡単な紹介と高平選手についての紹介を行った。



(4) 道徳を通したオリンピック・パラリンピック教育

お茶の水小学校の実践報告を参考にさせていただき、1年生の児童を対象とした道徳の授業を行った。指導内容は【公正、公平、社会正義】とし、フェアプレイ精神について役割演技も交えながら学んだ。



(5) 東京オリンピック・パラリンピックのマスコット投票

事務局のホームページにアップされていた動画を見ながら、各学級で投票を行った。

(6) I'm POSSIBLE を用いた読み聞かせ

朝の読書タイムに、パラリンピックに関する紙芝居形式の掲示資料をもとに読み聞かせを行ったりした。

6 主な成果

・校内の掲示物を見ながら、児童同士がオリンピック・パラリンピックに関する話をしたり、教師へ質問をしたりする機会が多くなった。また、実際の世界記録の掲示では、その横で実際に自分も走り幅跳びを行ってみるなどして、そのすごさを体感することができて

	<p>いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オリンピアンの高平選手による実技披露では、実際に走ったりその場でジャンプしたりして、そのスピードや体のバネを見せてくださり、子どもたちは憧れを抱いていた。その次の日から、朝から自主的に運動場に出てリレーやかけっこを行う姿が見られ、高平選手との交流が運動の生活化につながっていた。 • マスコットの投票は、自分たちの意見が2年後に行われる東京オリンピック・パラリンピックに反映されることをとても喜んでおり、関心が一気に高まった。 • 日本体育大学の協力のもとアンケート調査を行った。事業前と事業後を見比べると、「オリンピック・パラリンピックに興味がある」と回答した児童の割合が若干ではあるが伸びていた。特に伸びが大きかったのが、「オリンピック・パラリンピックのイベントに参加したい」と回答した児童の割合であった。このことからオリンピック・パラリンピックについての行動意欲が高まっていることがわかった。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度本校は、体育の研究を行っており、その一環として掲示物の工夫など全職員で事業に取り組んだ。 • 体育館に世界記録を視覚化したことで、児童だけでなく参観に来た保護者や地域の方の目にも触れ、児童との話題になった。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピアンへの招聘は児童の感想や事業後の姿からもとても有効であることが明らかとなった。本校は、市内中心部に位置しているため、近隣の学校にも周知を行い、より多くの児童に実技披露を見せたり講演を聞かせたりしたい。 • パラリンピックに関する知識があまりないので、クイズの量や掲示資料を増やしていく。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 体育科の授業の中でも、オリンピック・パラリンピックの話題に触れたり、陸上運動や器械運動のオリエンテーションで競技の動画を見せたりすることで、児童の運動への意欲付けを図っていきたい。 • 今年度出た課題を修正できるよう年間を通した計画を練り直し、本事業を継続していきたい。